



MD(日本うつ病学会) プログラム

ワークショップ1~7

オンサイト

会場でセッションにご参加いただけます(会場名を記載しています)

ライブ

ライブ配信を行います(配信日時を記載しています)

オンタイム

録画のオンタイム配信を行います(配信日時を記載しています)

オンデマンド

オンデマンド配信を行います：
配信期間は、2021年7月8日(木)~7月31日(土)
ライブ配信したセッションは、準備が整い次第オンデマンド配信を開始します

MDワークショップ1

ライブ

うつ病看護研修会：ガイドラインに基づく講義と事例検討

2021年7月9日(金) 8:40~11:40

コーディネーター 野末 聖香 慶應義塾大学看護医療学部

【趣旨・狙い】

日本うつ病学会は2020年2021年7月に『うつ病看護ガイドライン』を公表しました。うつ病看護ガイドラインを実践の場で活用していただくために、看護職(看護師、保健師、助産師)を対象としたうつ病看護研修会を企画しました。うつ病看護の基本についての講義と事例検討を通して、うつ病看護のポイントを理解し、ガイドラインを実践の場で活用する視点や方法を学ぶ機会にしたいと思います。また参加者の皆様からガイドラインの課題や使い勝手などについてフィードバックをいただき、ガイドラインの更新に生かしたいと考えています。

座 長

野末 聖香 慶應義塾大学看護医療学部
杉山 暢宏 信州大学医学部保健学科

演 者

野末 聖香 慶應義塾大学看護医療学部
河野 佐代子 慶應義塾大学病院看護部
杉山 暢宏 信州大学医学部保健学科
宇佐美 しおり 四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センター
玉木 敦子 神戸女子大学看護学部
長谷川 雅美 新潟県立看護大学看護学部
佐藤 寧子 慶應義塾大学SFC研究所
岡田 佳詠 国際医療福祉大学
香月 富士日 名古屋市立大学大学院看護学研究科
小坂橋 喜久代 前京都橘大学看護学部

MDワークショップ2

ライブ

オンデマンド

【作業療法士対象】 ガイドラインに基づくうつ病の心理社会的治療研修会

2021年7月10日(土) 9:30～11:30

コーディネーター 杉山 暢宏 信州大学医学部保健学科

【趣旨・狙い】

日本うつ病学会は2018年に『うつ病治療ガイドライン—精神科作業療法—』を公表した。このガイドラインに基づき本研修会では作業療法士や作業療法に興味のある医療関係者を対象に、心理社会的治療の研修を行う。

冒頭30分でガイドラインの講義を行い、次に事前に寄せられた質問にファシリテーターがお答えするセッションを予定している。日常臨床における疑問や困り事を下記のアドレスで募集している(多数の質問をお待ちしています)。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScn9ObpjPNS7kgAvn5WsCj-pLfPtLgZZ52aUxPtlsyXg-Wc4g/viewform>

続いてガイドラインの実践報告を2名の演者から行う。最後に総合討論の時間も十分に設けた。明日からの臨床に役立つ研修会としたい。

座 長

早坂 友成 杏林大学医学部保健学科
杉山 暢宏 信州大学医学部保健学科

演 者

田中 佐千恵 信州大学医学部保健学科
早坂 友成 杏林大学医学部保健学科
芳賀 大輔 ワンモア豊中

ファシリテーター

小林 正義 信州大学医学部保健学科
香山 明美 東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科
田中 佐千恵 信州大学医学部保健学科
早坂 友成 杏林大学医学部保健学科
芳賀 大輔 ワンモア豊中

MDワークショップ3

ライブ

EGUIDEプロジェクト うつ病治療ガイドライン講習会

2021年7月10日(土) 9:30~18:00

コーディネーター 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

【趣旨・狙い】

うつ病治療ガイドライン講習会への参加者を募集いたします。日本うつ病学会では、ガイドラインの普及・教育・検証活動として、EGUIDEプロジェクトを支援しています。EGUIDEプロジェクトでは、ガイドラインの講習を行い、精神科医の処方行動の変化を検討する研究を行っています。ガイドライン講習は、講義とグループディスカッションからなるもので、通常は受講には研究参加が必須となるため、誰でも参加できるものではありません。これに対して、研究参加はしないが受講したいとのご要望を多数いただき、研究参加しなくとも受講できる講習を今回開催いたします。

本講習は、うつ病治療ガイドラインに記載されている内容の周知だけでなく、記載されていないものの大切な問題についても紹介し、参加者がうつ病について知識をより深めるものになることを目的としています。精神科医はもちろんのこと、看護師、薬剤師などの医療従事者や基礎研究者や製薬企業の関係者など興味ある方は、広く受講していただきたいと考えております。なお今回はzoomを使用するのオンラインワークショップになりますし、高齢者のうつ病の講義が初めて公開されます。

皆様のご参加をお待ちしております。

座長 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

演者	沼田 周助	徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野
	小笠原 一能	名古屋大学
	中村 敏範	信州大学医学部附属病院精神科
	飯田 仁志	福岡大学医学部精神医学教室
	宇佐美 政英	国立国際医療研究センター国府台病院
	降旗 隆二	京都大学
	伊賀 淳一	愛媛大学大学院精神神経科学講座

ファシリテーター	今村 弥生	杏林大学医学部精神神経科学教室
	岡田 剛史	自治医科大学
	小高 文聰	東京慈恵会医科大学精神医学講座
	坪井 貴嗣	杏林大学医学部精神神経科学教室

MDワークショップ4

ライブ

自殺が生じた後のケア：患者を失った医療者、同僚を失った勤労者のケア

2021年7月10日(土) 10:00～12:00

コーディネーター 河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

【趣旨・狙い】

自殺の後に遺された人へのケアは、精神科医療、心理臨床、ないしは対人支援業務において重要です。また、自殺事故等のメンタルヘルス事故が生じた後の対応は、職場における勤労者のケアを含む労務管理、リスク管理上の課題でもあります。本研修会は、自殺事故後の遺された人の心理とさまざまな課題を提示し、ケース・スタディなどを通してその実際と対応、問題解決について学びます。講師・ファシリテーターは、いずれも自殺予防と事後対応に従事してきた専門家・実務家で、受講者の皆様と親密な学びの機会をご提供します。本研修会は、過去に事故を経験した方にとっては良い振り返りの機会となることと思いますし、今後、業務に携わるかたにとっても、基本的な知識と技術を身に着ける良い機会となるでしょう。

座 長 河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

演 者 河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座
太刀川 弘和 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

ファシリテーター 小山 達也 聖路加国際大学大学院博士後期課程
津山 雄亮 札幌医科大学保健管理センター
佐野 智章 札幌医科大学

MDワークショップ5 MDうつ病診療講習会

産業医からみたうつ病診療の問題点

オンサイト

ライブ

2021年7月10日(土) 12:20~16:20

第4会場「311+312」

コーディネーター 吉村 玲児 産業医科大学精神医学

【趣旨・狙い】

今回のうつ病の講習会はすべて産業医科大学のスタッフと産業医科大学出身で産業医経験豊富なスタッフで構成いたしました。大きな4つの柱についてご参加の皆様方と双方向性に議論したいと思います。1) 産業現場でのうつ病診療の難しさの問題点。2) 職場でのプレゼンティーズムの問題とどのようにして評価するか。3) 明日から応用できる認知行動療法の初歩。4) 異種性の高いうつ病へのかかわり方の基本と産業精神医学の実地現場で役立つ情報の収集方法。以上についてそれぞれのエキスパートより分かりやすくご講義頂き、グループワークも交えながら講師・ファシリテーター・参加者の先生方と熱い議論を戦わせたいと思います。この講習会は明日からの先生方の臨床にすぐにも役立つヒントが盛りだくさんです。多くのご参加をお待ちしております。

演 者

江口 尚	産業医科大学生態科学研究所産業精神保健学研究室
藤野 善久	産業医科大学産業生態科学研究所環境疫学研究室
宇都宮 健輔	株式会社東芝本社健康支援センター
古澤 隆太郎	産業医科大学精神医学

ファシリテーター

新開 隆弘	産業医科大学精神医学
池ノ内 篤子	産業医科大学精神医学
小西 勇輝	産業医科大学精神医学
吉村 玲児	産業医科大学精神医学

産業医の方へ

MDうつ病診療講習会は、日本医師会認定産業医制度生涯研修会として承認されました。日本医師会認定産業医の更新に必要な生涯・専門4単位を取得できます。

日本うつ病学会 診療教育委員会
委員長 吉村 玲児
(産業医科大学精神医学)

MDワークショップ6

ライブ

オンデマンド

睡眠・生体リズムをターゲットとした気分障害治療 ー日常診療における時間生物学的治療の実践に向けてー

2021年7月10日(土) 12:40～15:40

コーディネーター

鈴木 正泰

日本大学医学部精神医学系

【趣旨・狙い】

近年、気分障害において、生体リズムの異常が病態、治療経過に密接に関わることが明らかにされつつある。それに伴い、睡眠・生体リズム操作による気分障害治療が再評価されており、国際感情障害学会 (ISAD) や国際双極性障害学会 (ISBD) においては、時間生物学的治療に関する委員会やタスクフォースが立ち上げられ、薬物療法を補完する新たな治療戦略として実地臨床における使用を目指した議論が進められている。

本ワークショップでは、睡眠や概日リズム制御の基礎、およびこれらの気分障害の病態生理との関連について解説した上で、代表的な時間生物学的治療である高照度光療法、断眠療法 (覚醒療法)、暗闇療法、対人関係社会リズム療法の実践に必要な知識を解説する。これらの治療理論は、いずれも一般的なうつ病治療法と併用可能であることから、その例についても紹介する。

明日からの臨床に役立つ知識を含め、この分野をリードする講師陣が初学者にもわかりやすく解説する。

座 長

鈴木 正泰

日本大学医学部精神医学系

吉池 卓也

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部

演 者

吉池 卓也

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部

竹島 正浩

秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座

鈴木 正泰

日本大学医学部精神医学系

高江洲 義和

琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座

江崎 悠一

藤田医科大学医学部精神科／桶狭間病院

阿部 又一郎

伊数病院

MDワークショップ7

オンサイト

明日からの臨床研究を遂行するために知っておきたい知識や技能
ー臨床研究遂行道場ー

2021年7月10日(土) 16:20~19:50

第5会場「313+314」

コーディネーター 加藤 正樹 関西医科大学精神神経科学講座

【趣旨・狙い】

これから研究を始めたい方、研究がなかなかうまく進まない方、日々感じている臨床疑問をどうにか解決したい方を対象としたワークショップ。臨床疑問やアイデアから、どのように臨床研究をデザインし、体制を作り、研究を実施するかという概論と、医学臨床研究、定性的研究、メタ解析など各論に関しての教育的講義を前半に行う。後半は3グループに分かれて、それぞれのグループごとに臨床疑問からPECOを組み立ててもらい発表する後半1部、発表の討論を通して、そこから試験デザインを組み立て発表する後半2部で構成される。本ワークショップで誕生した研究が実際の稼働し本学会で発表されるところを目指したい。

座長

加藤 正樹 関西医科大学精神神経科学講座
堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室

演者

田近 亜蘭 京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野
馬場 元 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室
青木 裕見 聖路加国際大学大学院看護学研究科
加藤 正樹 関西医科大学精神神経科学講座

ファシリテーター

馬場 元 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
青木 裕見 聖路加国際大学大学院看護学研究科
菊池 結花 ハートケアクリニックおおまち
嶽北 佳輝 関西医科大学精神神経科学教室
田近 亜蘭 京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野
前嶋 仁 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック
河野 仁彦 医療法人一誠会都城新生病院
阿竹 聖和 NTT西日本九州健康管理センター
香月 明日香 社会福祉法人二丈福祉会特別養護老人ホーム仙寿苑
越川 陽介 関西医科大学精神神経科学講座
佐久間 健二 藤田医科大学精神神経科学講座
堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室
加藤 正樹 関西医科大学精神神経科学講座